

荷風の眼と心

野々高士郎

永井荷風は作家であり、詩人であり、劇作家であり、あつたが、氏の文學者としてのさめだつた特徴は文明批評家であり、郷土語人といふ点にある。

私かほゞの荷風作呈に接したのは元号が大正から昭和にかわつた直後の中学生時代であつたが、當時次つぎに発行された円本の『つど讀んだ小説』と随筆『日知下駄』の二篇は、まだ真新しい海綿のような吸収力をもち、こゝにた當時の私の顔面によほど深